

III 学 校 教 育

1 学 校 教 育

1 学校教育の目標

「夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成」
～「活かす力」を育む学校教育の推進～

学校教育目標の主題は、にかほ市のまちづくり基本理念である「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち」をもとに、副題はにかほ市の特色や市内各小・中学校の児童生徒の実態をもとに設定したものである。

2 目指す子ども像

- 自分のよさを理解し、大いなる夢をもち、目標に向かって努力する子ども
- 郷土を愛し、思いやりの心をもち、心豊かに生き生きと活動する子ども
- 健康な心と体をもち、明るく元気で、たくましく生き抜く子ども

3 「活かす力」を育む学校教育の推進

（１）にかほ市の特色から

本市には他に誇れる豊かな自然が数多く存在している。産業も、これらの自然の恵みを十分に受けて発展し、先端科学技術を駆使した世界規模の企業も本市の産業基盤となっている。本市はまさに自然と科学技術のまちである。このような地域の特色をこれからどのように生かしていくのかということは、私たち市民に与えられた課題であり、言い換えれば大きな夢でもある。学校教育の中でも、地域の豊富な教育資源や人材の活用を積極的に図りながら、本市の特色を生かした教育を一層進めていくことが必要である。

（２）各小・中学校の実態から

市内の各小・中学校では、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣化、学習活動における約束の徹底指導、そして学力向上に向けた指導方法の工夫改善が進められている。また、豊かな心を育む教育も推進され、児童生徒の思いやりの心や柔らかな感性が育っている。さらに文武両道を目指し、児童生徒が積極的にチャレンジする姿が見られ、各種スポーツ大会及びコンクール等において好成績を収めている。

しかし、学習面においては、学習意欲の喚起や知識・技能の定着に課題を抱える学校も少なくない。こうした課題を克服するためには、児童生徒が「自ら学ぶ意欲」をもち、「学ぶ喜び」や「達成感」を味わうことのできる魅力的な授業づくりを一層推進することが求められる。その基盤となるのは、教師と児童生徒、児童生徒同士が互いの努力や成長を自然に認め合える信頼関係の構築である。このような信頼関係の中で積み重ねられる小さな成功体験が学習意欲や学力の向上へと確実につながっていくと考えられる。

さらに、タブレット端末等のＩＣＴ機器を効果的に活用し、自らの課題を追究する「個別最適化学び」を深めるとともに、児童生徒の考えを可視化し、相互に意見を交わしながら学びを高め合う「協同的な学び」の充実を図っていくことにより、基礎となる力を活かし、応用発展させる「活かす力」の育成につなげていきたい。

(3) 「活かす力」

- I よりよく生きるための基礎となる力**
- II 基礎となる力をもとにさらに高まろうとする力**
- III 基礎となる力を活かし、応用・発展させる力**

「活かす力」とは、「基礎となる力を活かし、応用・発展させる力」（思考・判断・表現）であると捉えている。すなわち、「よりよく生きるための基礎となる力」（知識・技能）を土台にしながら、「基礎となる力をもとにさらに高まろうとする力」（主体的に学習に取り組む態度）を引き出すことで、「活かす力」が生み出されてくるものである。そして、この3つの力がさらに相互に作用することで、より高次の「活かす力」へと高まっていくものである。

4 学校教育の重点

(1) 心豊かで創造的に生き抜く力を育む

- ①ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の充実
- ②道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の充実
- ③幼保小連携、小中高連携、小中一貫教育の推進
- ④読書活動の充実、読書環境の整備と充実

(2) 基礎学力の定着と学んだことを活かす力の育成をめざす

- ①タブレット端末等を活用した学習の推進
(モデル校を核とした研修の充実、ICT支援員・情報教育支援員の活用、他機関との連携)
- ②理科、算数・数学、英語教育の充実
(教育専門監・教育指導員・外国語活動支援員の活用と指導の充実)
- ③外国語指導助手事業等による外国語活動や英語教育の充実
- ④教職員の授業力向上(教職員全体研修、授業研究会、理科実験研修等)
- ⑤にかほ地域学の充実と発信
(郷土の偉人や歴史等に学ぶ学習、にかほジオ学、防災教育、プログラミング学習等)
- ⑥特別支援教育への支援
(学校生活・学習サポート事業と早期からの教育相談の充実)
- ⑦学習状況調査の活用(分析及び対策検討)
- ⑧NRT、Q-U等諸調査の共通実施と分析及び対策検討
- ⑨市内教育施設(フェライト子ども科学館、白瀬南極探検隊記念館、象潟郷土資料館、TDK歴史みらい館等)を活用した学習活動の推進
- ⑩宮城県松島町や近隣市町との教員研修交流の実施

(3) 地域社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する

- ①学校支援活動の充実
- ②コミュニティ・スクールの推進と活動支援

(4) 健康でたくましい心と体を育成する

- ①食育の充実と体力向上への取り組み(地産地消食育事業の推進)
- ②いじめゼロ・不登校児童生徒の居場所づくりを目指す取り組みの充実
(教育支援センター「ばすてる」、関係機関との連携)
- ③防災教育を核とした安全教育の推進

2 小学校・中学校一覧

(1) 小学校

(令和7年4月1日現在)

学校名	校長名	所在地	電話	児童数	学級数	学校教育目標
平沢小学校	安齋 知子	平沢字 画書面37-1	35-2406	264	13	夢に向かって高め合い、たくましく 生きる子どもの育成 ～ かしこく やさしく たくましく ～
院内小学校	畠山 ゆかり	小国字 郷ノ町85	36-2154	92	7	夢に向かって学び、 共に伸びゆく院内の子 ～読む子 走る子 働く子～
金浦小学校	佐々木 史子	金浦字 背長森39	38-2055	127	8	浜っ子よ、大海をめざせ！ 「共生」「自主」「挑戦」
象潟小学校	菱刈 宏記	象潟町字 妙見下77-2	43-2334	300	15	ふるさとに学び、夢に向かって 努力する子どもの育成 ～ かしこく ゆたかに たくましく ～

(2) 中学校

学校名	校長名	所在地	電話	生徒数	学級数	学校教育目標
仁賀保中学校	土田 正志	院内字 ヒシカタ40	36-2121	204	7	ゆたかに たくましく 「温」と「厳」の指導のもとに、 学力保障と成長保障
金浦中学校	佐々木 斉	金浦字 谷地中30-3	38-2355	75	4	自ら学び 心豊かで 心身ともにたくましい生徒の育成 ～ 金中五開を通して ～
象潟中学校	齊藤 篤	象潟町字 屋敷田108	43-2009	204	8	人間性豊かで、実践力に富む生徒の育成 「自主」「協力」「奉仕」

3 小学校・中学校施設概要

(1) 小学校

(令和7年4月1日現在)

学 校 名	校地面積 (㎡)			建物面積 (㎡)			校舎	屋内運動場
	建物敷地	屋外運動場	その他	校舎	屋内運動場	その他	建築年度	建築年度
平沢小学校	8,081	18,753	10,266	7,008	1,383	787	S63.7	S46.10
院内小学校	4,878	10,703	3,257	2,381	563	43	S40.11	S40.11
金浦小学校	12,430	16,650	18,907	4,373	1,169	385	H16.2	H16.2
象潟小学校	5,069	9,547		6,262	990	64	S52.5北校舎 S62.3南校舎	S62.11

(2) 中学校

学 校 名	校地面積 (㎡)			建物面積 (㎡)			校舎	屋内運動場
	建物敷地	屋外運動場	その他	校舎	屋内運動場	その他	建築年度	建築年度
仁賀保中学校	36,204	31,505	4,100	7,711	2,133	1,141	H21.12	H21.3
金浦中学校	17,585	18,300	139	2,867	1,132	517	S54.12	S54.12
象潟中学校	33,812	12,966		7,279	2,331	459	H20.2	H19.3

4 学 校 給 食

1 運営方針

成長期にある児童生徒の健康の保持増進と、望ましい食習慣の形成を図ることにより、食文化の伝承や食育の充実を図る。

2 重点目標

- (1) 食育の推進による望ましい食生活の形成
 - ①生きた教材としての学校給食の推進（「ふるさとの味 食育事業」の活用）
 - ②栄養教諭・学校栄養職員の専門性を活用した授業展開の工夫
 - ③食に関する年間指導計画の活用
- (2) 関係職員の資質向上による食に関する指導の充実及び個別指導
 - ①栄養教諭・学校栄養職員の研修会への参加及び学校給食調理員研修会の開催
 - ②本荘由利学校給食研究協議大会への参加
- (3) 学校給食運営の充実による衛生管理の徹底及び食環境の改善
 - ①学校給食衛生管理基準の遵守
 - ②衛生管理に関する研修会の実施
 - ③給食施設の改善及び整備

3 給食調理場・調理室

(令和7年4月1日現在)

施 設 名	学 校 名	給食人員（人）		1食の給食費 （円）	調理員の配置
		児童・生徒	職 員		
平沢小学校	平沢小学校	264	36	小学生 275 円	調理員 2 名 臨時調理員 3 名
仁賀保中学校	仁賀保中学校	204	32		調理員 2 名 臨時調理員 2 名
金浦学校給食 共 同 調 理 場	院内小学校	92	19	中学生 315 円	調理員 1 名 臨時調理員 6 名
	金浦小学校	127	28		
	金浦中学校	75	17		
象潟学校給食 共 同 調 理 場	象潟小学校	300	33		調理員 2 名 臨時調理員 5 名 施設管理・配送 2 名
	象潟中学校	204	33		

※ 一週間の給食実施回数 5 日（米飯は 3 日）

5 教育研究所

1 運営方針

- (1) 市内小・中学校の教育の充実を図るため、学校教育に関する諸調査・研究及び教職員の資質向上に役立つ研修等を行う。
- (2) 教育研究所運営委員会をはじめ、各小・中学校教職員の協力を得て、諸事業の企画と円滑な運営に努める。

2 研究の視点

- (1) 研究主題 「活かす力」を育む学校教育の推進
～基礎的・基本的な知識及び技能を活かして主体的に学ぼうとする児童・生徒の育成～
- (2) 研究の視点
 - ①基礎的・基本的な知識及び技能を習得するために、問題解決的な学習を展開するとともに、反復練習等の繰り返し学習や生活の中で学んできたことを活用する機会を意図的・計画的に設定していく。
 - ②学習への意欲を引き出す導入と見通しをもつ活動を重視するとともに、テーマや教材、学習の方法、表現方法を自己決定（選択）する場面を設定していくことで児童・生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにする。
 - ③自ら動いて、学び合い、教え合いが発生するような雰囲気作り、場の工夫を心掛け、個別最適な学習と協働的な学習の一体的な充実を図る。
 - ④本時のねらいを達成できたか確実に見取るための評価の活動を吟味し、個別指導や補充指導に活かす。
 - ⑤ねらいを達成するためのICT機器の活用場面について吟味し、効果的な活用の在り方を探っていく。
 - ⑥各教科のねらいに沿った言語活動を効果的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の基盤となる言語能力を育成する。
 - ⑦総合的な学習の時間や発展的な学習等において、地域の素材を活かした「にかほ地域学」を推進するとともに、他教科等で学んだ知識や技能を活かして、調べたことや考えたことを発信する活動を重視していく。

3 教育研究所に設置する委員会

- 教育研究所運営委員会（校長会代表1名、教頭会代表1名、各小・中学校代表1名）
- 情報教育推進委員会（各小・中学校代表1名、情報教育支援員3名）
- 特別支援教育関係事業等運営委員会（特別支援学級担任）

4 事業計画

期 日	事 業 名
4 月 24 日 (木)	第 1 回教育研究所運営委員会
4 月 30 日 (水)	第 1 回特別支援教育関係事業等運営委員会
5 月 14 日 (水)	第 1 回にかほ市初任者研修
5 月 16 日 (金)	第 1 回情報教育推進委員会
5 月 27 日 (火)	第 2 回特別支援教育関係事業等運営委員会
6 月 11 日 (水)	なかよし交流学习 (特別支援学級児童生徒対象)
6 月 19 日 (木)	第 2 回教育研究所運営委員会
7 月 10 日 (木)	第 2 回情報教育推進委員会
7 月 24 日 (木)	N R T 結果分析検討会
7 月 30 日 (水)	にかほ市夏季教職員全体研修会
8 月 8 日 (金)	第 2 回にかほ市初任者研修
9 月 4 日 (木)	第 3 回特別支援教育関係事業等運営委員会
10 月 17 日 (金)	なかよし交流会 (特別支援学級児童生徒対象)
11 月 13 日 (木)	にかほ市教育委員会委嘱公開授業研究会 (金浦中)
11 月 19 日 (水)	にかほ市教育委員会委嘱公開授業研究会 (平沢小)
12 月 4 日 (木)	県学習状況調査協同採点 (小学校)
12 月 5 日 (金)	県学習状況調査協同採点 (中学校)
2 月 6 日 (金)	第 4 回特別支援教育関係事業等運営委員会
2 月 13 日 (金)	第 3 回情報教育推進委員会
2 月 19 日 (木)	第 3 回教育研究所運営委員会
2 月末	研究紀要第 20 集発行